

9. 都市基盤・まちづくり

| | 日時 | 年代 | 不 | | | | | | | 住所 | タイトル | 意見等 |
|---|-----------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----------------|--|-----|
| | | | ～20代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代～ | | | |
| 1 | 2024/8/19 | 40代 | | | 1 | | | | 徳島市 | 東環状線高架下の土地活用 | 連日の猛暑の炎天下の中、熱中症アラートも出ており、子ども達を公園などに遊びに連れ出すことができず、県内ショッピングモールなどに頼っています。これは私に限ったことだけでなく、子育てをしている多くの県民が感じていると思います。実際に子育てをしている誰に聞いても、「暑すぎてどこにも連れ出せない。家にいてばかりでうんざりする。」と言う人が多く、それは子育て中の県職員の皆さまも実感されていると思います。標題の東環状線高架下については、社会実験が行われるなどで活用を検討していると思いますが、近隣住民の生活なども関連すると思いますので一筋縄ではいかないのは重々承知の上で、公園等の整備を強く希望しております。 ・一部のフェンスを高くして子どもが投げるボール等が道路に出ないこと ・駐車場、違法駐車増加の問題 ・人が増えることでの騒音やゴミの問題 ・スケボーやBMXなどの利用者が増える（治安悪化のイメージがある） など、色々と課題もあると思いますが、暑い日や雨天でも子どもを「気軽に」外に連れ出せる遊び場が無いので、様々な課題を乗り越えて整備を望みます。 気候変動も相まって熱中症アラートが毎日出ています。 このような状況下で屋根と日陰がある広い場所をぜひ活用していただきたいです。 たくさんの子どもを笑顔にできるポテンシャルがあるのではないのでしょうか。 | |
| 2 | 2024/8/20 | 30代 | | | 1 | | | | 鳴門市 | 高速道路の整備促進等について | ○後藤田正純徳島県知事は高速道路の整備促進等について、徳島県が費用負担を行って国土開発幹線自動車道のE32徳島自動車道の完全四車線化の運用開始（鳴門JCT～川之江東JCT間）、国土開発幹線自動車道のE55徳島南部自動車道（徳島津田IC～阿南IC間）の早期開通、地域高規格道路のE55阿南安芸自動車道（桑野道路・阿波福井道路・海部道路）の早期開通で生命の道である高速道路の整備促進を急がなければならない。併せて、産業振興並びに地域地場の産業振興・農林水産業の振興・物流流通の活性化・観光振興に貢献しなければならない。 ⇒E32徳島自動車道並びにE55徳島南部自動車とE55阿南安芸自動車道が、全国の高速道路のネットワーク網に組み込まなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は、国土交通省道路局長さんに要望して、徳島自動車道の上板SAIにインフォメーションの開設、松茂PA・阿波PA・阿波池田PAIに売店並びに軽食コーナーを開業させなければならない。 | |
| 3 | 2024/8/20 | 40代 | | | | 1 | | | 鳴門市 | 物流24時間問題 | 県トラック協会の人手不足などに対する支援について、中長期的視点での意見になりますが、県トラック企業共同で使用する物流施設を整備してはどうかと思います。その施設へ集荷して共同で運営するトラックで遠隔地に輸送するシステムを構築することが少ない労力で効率的に輸送できることに繋がると考えます。今話題の新幹線物流との連携強化も課題解決になるかと思えます。新神戸駅、岡山駅までの輸送であれば往復400km程度の輸送で済みます。CO2削減に繋がるEVトラックの導入も可能になり県が推し進めるSDGsに合致してきます。是非検討して頂き県産物を普及、アピールに繋げて欲しいです。 | |
| 4 | 2024/8/29 | 30代 | | | 1 | | | | 鳴門市 | 徳島の街づくりについて | ○後藤田正純徳島県知事は三菱商事本社の協力を得て、徳島県に三菱地所グループ（三菱地所本社・三菱地所設計本社等）のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設しなければならない。 ※ 「世界に誇れる模範の街づくり」、「世界に語れる模範の街づくり」の都市計画事業を行う。 ※ 三菱地所が目指す「人を、想う力。」「街を、想う力。」の街づくり | |
| 5 | 2024/8/30 | 30代 | | | 1 | | | | 鳴門市 | 県都のグランドデザインについて | ○後藤田正純徳島県知事は三菱地所並びに三菱地所設計と一体となつて、コンパクト・シティ とくしまの街づくりを目標管理に設定しなければならない。 ※ 富山市、宇都宮市などのコンパクト・シティのモデルケースやコンパクト・シティの取り組み事例 | |